

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

「人生は飛行機なり、立派に着陸したい」

本田宗一郎（ホンダ創業者・1981年1月31日「ダイヤモンド」）

ホンダの創業者、本田宗一郎は1973年、65歳のときに、大卒第一号社員だった、河島喜好を社長に指名し、現役を引退した。世襲を良しとせず、3人の子供たちは会社にすら入れていない。

1. 人生は離陸に始まって、着陸したとき、大福帳に幾ら残っているかが、その人の人生の幸福さだと思うね。離陸っていうのはね、あんなものはほっときさえすれば離陸するように飛行機はできているんだから。しかし、着陸は難しい。飛行機の事故は、だいたい着陸のときに失敗している。
2. 飛行機っていうのは、俺は、人生と同じだと思っている。離陸する方はね、自分の意志じゃなかったんですよ。生まれてくる方はね、おやじやおふくろの意志で、俺は知らん間に離陸したんだから。それと反対に、着陸は自分の意志なんですよ。自分が今までやってきた総決算として着陸するんだから。後世の人に悪口言われるような着陸はしたくない。
3. やっぱり社長は早く辞めた方がいいな。いつまでもやっている、会社がおかしくなってから辞めなくちゃいけない。早く、能力のある人に譲って、楽な着陸をした方がいいですよ。あんまりたくさん、お荷物をしよわずに着陸する方が、着陸しやすい。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年12月26日・2021年1月2日号)

経営者のための社会学

ベトナムと日本は適合性が高い

エマニュエル・トッド（歴史家・文化人類学者・人口学者）

1. 私はベトナム人こそ、日本が移民として受け入れるのに最も適していると考えている。ベトナム文化は日本文化との適合性がとても高いからだ。ベトナムの家族構造は、中国と同じ共同体家族だ。ただ、北部は日本のように長男の身分が大切にされる傾向がみられ、南部の一部地域では核家族構造に近いところもある。人類学的なシステムから見ると、ベトナムと日本は適合性の高い要素が見受けられる。
2. また、ベトナムとは日韓間にあるような歴史の軋れつがないことも重要な点だろう。日本にとってベトナムは、今後何世紀にもわたって地政学的にも同盟国として手を結ぶべき相手なのだ。さらに言えば、ベトナム以外の国からの移民受け入れはもっと難しいと思う。

(参考:「週刊東洋経済」:2020年12月26日・

2021年1月2日号)

経営者のための理念・哲学

会社経営においても重要な「仁」

数土 文夫（JFEホールディングス名誉顧問）

1. 経営者の一番の使命は利益を出すことです。ただ、その場合、仁、徳を守るのは至難の業なんですね。「論語」を読むと、仁という言葉が百回以上出てくる。それをいろいろな形で弟子たちに説いて聞かせていることを思うにつけ、これは会社経営においても重要であるという思いを強く抱くようになりました。
2. 西洋の古典文学には創造神が出てきます。ところが、東洋古典には創造神がなく、皆人間対人間の関係なのです。人と人との関係でも東洋古典が、特に重んじているのが、「経世済民」（世の中をよく治めて人々を苦しみから救う）、「修己治人（自ら修養して徳を積み、世を治めていく）」「応対辞令（人に対する時の振る舞い方）」の二つです。

(参考:「致知」2021年2月号)

古典に学ぶ

己を律する教旨（論語主義）

（解説）論語主義は己を律する教旨であって、人はかくあれ、かくありたいというように、むしろ消極的に人道を説いたものである。しかしてこの主義を押し拡めて行けば、ついには天下に立てるようになる。もし孔子をして政柄を握らしめたならば、善政を施き国を富まし、民を安んじ、王道を十分に広める意志であったろう。

(参考:渋沢栄一「論語と列子」:国書刊行会)